

温室効果ガス全体の排出量見通しについて

算定結果	基準年	2002年度				現状対策				対策強化		
	百万 t-CO2	百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)		百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)		百万 t-CO2	基準年 総排出量比	(部門毎の 基準年比)
エネルギー起源CO2	1,048	1,174	+10.2%	(+12.0%)	→	1,115	+5.4%	(+6.4%)	→	1,056	+0.6%	(+0.8%)
産業部門	476	468	-0.7%	(-1.7%)	→	450	-2.1%	(-5.6%)	→	435	-3.3%	(-8.6%)
民生部門	273	363	+7.3%	(+33.0%)	→	333	+4.9%	(+22.2%)	→	302	+2.4%	(+10.8%)
(家庭部門)	129	166	+3.0%	(+28.8%)	→	155	+2.1%	(+20.0%)	→	137	+0.6%	(+6.0%)
(業務その他部門)	144	197	+4.3%	(+36.7%)	→	178	+2.8%	(+24.1%)	→	165	+1.7%	(+15.0%)
運輸部門	217	261	+3.6%	(+20.4%)	→	260	+3.4%	(+19.6%)	→	250	+2.7%	(+15.1%)
エネルギー転換部門	82	82	-0.0%	(-0.3%)	→	73	-0.8%	(-11.8%)	→	69	-1.1%	(-16.4%)
非エネCO2,CH4,N2O	139	128	-0.9%		→	130	-0.8%		→	123	-1.2%	
非エネCO2	74	73	-0.1%			74	+0.0%			70	-0.3%	
CH4	25	20	-0.4%			20	-0.3%			20	-0.4%	
N2O	40	35	-0.4%			35	-0.4%			34	-0.5%	
代替フロン等3ガス	50	28	-1.7%		→	67	+1.4%		→	51	+0.1%	
HFCs	20	13	-0.6%			46	+2.1%			34	+1.1%	
PFCs	13	10	-0.2%			9	-0.3%			9	-0.3%	
SF6	17	5	-0.9%			12	-0.4%			8	-0.7%	
温室効果ガス排出量	1,237	1,331	+7.6%		→	1,311	+6.0%		→	1,231	-0.5%	
吸収源						-32	-2.6%		→	-48	-3.9%	
京都メカニズム										-20	-1.6%	

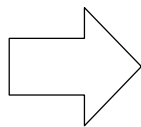
※上記の表は四捨五入の都合上、各欄の合計は一致しない場合がある。

計 **-6.0%**

※運輸部門のエネルギー起源CO2排出量見通しについては、国土交通省と最終的な調整中。

現行大綱

(エネルギー起源CO2)	± 0 %
(国民努力)	▲ 1. 4 %
(革新的技術)	▲ 0. 6 %
(非エネCO2、メタン、N2O)	▲ 0. 5 %
(代替フロン等3ガス)	+ 2. 0 %
(森林吸収源)	▲ 3. 9 %
(京都メカニズム)	▲ 1. 6 %
<計>	▲ 6. 0 %



目標達成計画

(エネルギー起源CO2)	}	+ 0. 6 %
(国民努力)		
(革新的技術)		
(非エネCO2、メタン、N2O)		▲ 1. 2 %
(代替フロン等3ガス)		+ 0. 1 %
(森林吸収源)		▲ 3. 9 %
(京都メカニズム)		▲ 1. 6 %
<計>		▲ 6. 0 %